

企画展示（第 60 回）収蔵品展 16

指定文化財でめぐる 春日部 展示ガイド



郷土資料館案内人
うめわかくん

ごあいさつ

平成2年に開館した郷土資料館の企画展示は、市民の皆様のご協力をいただきまして第60回を迎えることができました。企画展示では郷土春日部の歴史や文化、人物、自然などにつきまして紹介してまいりました。

今回の展示では、第60回記念展示として、「収蔵品展 16 指定文化財でめぐる春日部」と題し、郷土資料館所蔵、寄託の資料全 21 件を公開いたします。これまで、皆様からご寄贈、ご寄託を頂きました資料は、クリーニングを行い、順次、整理作業を進めております。また、地域の歴史や文化を知るうえで特に重要な文化財は、指定文化財として厳重に保管しております。

展示する文化財は、埼玉県指定、春日部市指定のものがあり、その種別は考古資料、古文書、有形文化財、歴史資料、有形民俗文化財と多岐にわたります。またその時代も、3万年前の旧石器時代の風早遺跡（西金野井）出土の石器から、平成の時代に消えてしまった名産品「木櫛」の製作用具まで、長い期間に及びます。これらの文化財は、通常は収蔵庫で保管されていますが、今回は郷土春日部の優品を一堂にご覧いただくことを目的として開催いたします。

文化財一つ一つが語る春日部の歴史や文化に、耳を傾けて頂ければ幸いです。

令和元年 5 月 春日部市郷土資料館



1. 坊荒句遺跡出土旧石器時代石器群

春日部市指定有形文化財（考古資料）
旧石器時代（約3万年前） 当館所蔵

坊荒句遺跡は、内牧の大宮台地に立地します。「坊荒句遺跡出土旧石器時代石器群」は、内牧公園造成に先立って行われた発掘調査で関東ローム層から出土したものです。石器群は33点からなり、「台形状ナイフ形石器」や「スクレイパー」が含まれます。石器の出土地点は石器製作跡と考えられる「ブロック」を形成していました。また石器に使われた黒曜石は栃木県矢板市高原山産と推定されます。



2. 慈恩寺原北遺跡出土旧石器時代石器群

春日部市指定有形文化財（考古資料）
旧石器時代（約3万年前） 当館所蔵

慈恩寺原北遺跡は、花積の大宮台地上に立地します。「慈恩寺原北遺跡出土旧石器時代石器群」は、開智学園校舎建設に先立って行われた発掘調査で出土したものです。石器群は58点からなり、石刃、敲石があります。石材はガラス質黒色安山岩を主に、珪質頁岩、玉髓、石英、黒曜石、砂岩の6種から構成され、黒曜石は栃木県矢板市高原山、珪質頁岩のうち一部は新潟県阿賀野市笹神丘陵が産地として推定されています。



3. 風早遺跡出土旧石器時代局部磨製石斧

春日部市指定有形文化財（考古資料）
旧石器時代（約3万年前） 当館所蔵

風早遺跡は、西金野井の下総台地上に立地します。「風早遺跡出土旧石器時代局部磨製石斧」は、住宅地造成に先立って行われた発掘調査で、ローム層より出土したものです。石を打ち欠くことで石器の形を作り上げるものの、刃になる部分は研磨されていることから局部磨製石斧と呼ばれます。長さが7.9cm、重さは49.1gで、珪質頁岩という石が石材に使われています。



4. こめじまかいづかしゆつどくろはましきどき 米島貝塚出土黒浜式土器

春日部市指定有形文化財（考古資料）
縄文時代前期（約 5,500 年前）当館所蔵

米島貝塚は、米島の下総台地上に立地します。「米島貝塚出土黒浜式土器」は、昭和 36 年（1961）に住宅地造成に先立って行われた発掘調査で出土したものです。調査では、12 軒の竪穴住居跡が発見され、住居を使わなくなった後に内部に貝が捨てられて貝塚となったものもありました。これらの住居跡からは、黒浜貝塚（蓮田市）出土の土器をもとに設定された「黒浜式土器」と同型式の土器が多く出土し、報告書では黒浜式土器の時間的な変化が研究されました。



5. しんめいかいづかしゆつど ほりのうちしきくみあわせどき 神明貝塚出土の堀之内式組合せ土器

春日部市指定有形文化財（考古資料）
縄文時代後期（約 3,800 年前）当館所蔵

神明貝塚は、西親野井の下総台地上に立地します。「神明貝塚出土の堀之内式組合せ土器」は、昭和 40 年（1965）の神明貝塚の発掘調査で出土したものです。組合せ土器は器と蓋の 2 つの土器からなり、それぞれに 2 個 1 組の孔が左右 2 か所にあけられ、紐などによって上下を組み合わせて使った土器です。土器型式は、堀之内貝塚（市川市）の土器をもとに設定された「堀之内式土器」に分類されます。



6. すがまいせきさいそうぼしゆつどいぶついつかつ 須釜遺跡再葬墓出土遺物一括

埼玉県指定有形文化財（考古資料）
弥生時代中期（約 2,000 年前）当館所蔵

須釜遺跡は、倉常の自然堤防上に立地します。「須釜遺跡再葬墓出土遺物一括」は、平成 13 年（2001）、地元の方が耕作中に発見した弥生時代中期の壺形土器をきっかけに発掘調査を行った際に出土したものです。弥生時代中期の再葬墓 11 基が発見され、墓に使われたほぼ完形の弥生土器が多数出土しました。出土した弥生土器は、壺を主体に甕や広口壺、筒形土器などがあります。また、打製石斧や磨石などの石器も出土しています。



7. 塚内4号墳出土遺物

春日部市指定有形文化財（考古資料）
古墳時代後期（約 1,400 年前） 当館所蔵

内牧の小字「塚内」には、19 基の古墳からなる古墳群があり、内牧塚内古墳群と呼んでいます。「塚内 4 号墳出土遺物」は、昭和 52 年(1977)に行なわれた内牧塚内 4 号墳の墳丘部分の発掘調査で出土したもので、鉄刀、鉄鏃、ガラス小玉、須恵器壺、人物埴輪、円筒埴輪、朝顔形埴輪からなります。円筒埴輪は、下総地域、武蔵地域それぞれで作られたものが出土し、当時の春日部が下総と武蔵の境界に位置していたことを示します。



8. 小湊河畔砂丘出土の須恵器大甕

春日部市指定有形文化財（考古資料）
奈良時代（約 1,200 年前） 当館所蔵

小湊河畔砂丘は、小湊の古利根川沿いに形成された砂丘です。須恵器大甕は、昭和 31 年（1956）に小湊河畔砂丘の下部から、発見されました。口の直径 33.8 cm、高さ 54.6 cm、底の直径 20.5 cm の大きなもので、ほぼ欠けることなく発掘されました。須恵器に使われた粘土の特徴から群馬県方面の窯で作られた製品と推定されます。砂丘下部から出土していることから、河畔砂丘の形成時期を考える上で欠かせない資料の一つです。



9. 貝の内遺跡出土の下総国分寺軒平瓦

春日部市指定有形文化財（考古資料）
平安時代（約 1,100 年前） 当館所蔵

貝の内遺跡は、西宝珠花の下総台地上に立地し、奈良時代、平安時代の建物跡が約 140 軒調査されています。「貝の内遺跡出土の下総国分寺軒平瓦」は平成 4 年に行なわれた調査で、煮炊きを行うカマドの内部から出土しました。軒平瓦は、屋根の下部に文様が見えるように葺かれます。この瓦の文様は、「宝相華文」という下総国分寺（市川市）創建時の瓦に使われたものです。国分寺を補修した時に捨てられた瓦が運ばれたと考えられます。





10. 浜川戸遺跡出土の板石塔婆

春日部市指定有形文化財（考古資料）
中世（弘安6年(1283)ほか）当館所蔵

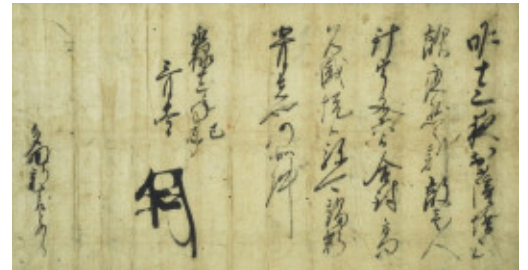
浜川戸遺跡は、浜川戸の自然堤防上に立地します。「浜川戸遺跡出土の板石塔婆」は、昭和62年(1987)に行なわれた浜川戸遺跡の発掘調査で河畔砂丘の上から出土したものです。板石塔婆には、最も古い弘安6年(1283)をはじめとして、13～14世紀の年代が刻まれています。これらの板石塔婆から、13世紀ごろ砂丘上で人々が活動していたことがわかり、河畔砂丘の形成時期を考える上で欠かせない資料の一つです。



11. 北条氏政の感状

春日部市指定有形文化財（古文書）
中世（永禄12年(1569)）当館所蔵

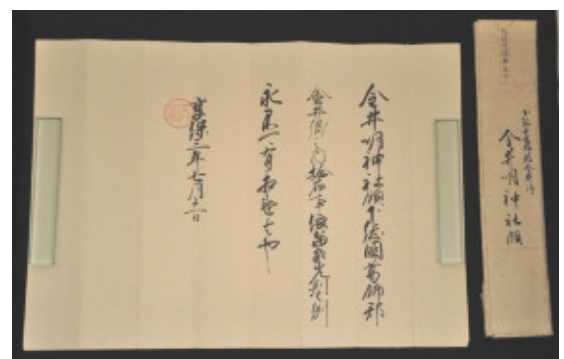
「北条氏政の感状」は、永禄12年(1569)3月14日に北条氏政から春日部の多田新十郎に、戦功を賞して与えられたものです。永禄11年(1568)冬、甲斐国武田氏は、駿河国今川氏、相模国後北条氏との三国同盟を破り、駿河国に攻め込みました。これに対し後北条氏も今川氏を援護すべく、駿河国に入りました。永禄12年3月13日夜、多田新十郎が薩埵山（静岡市）で、夜襲してきた武田氏方の敵一人を討ち取り、この感状が与えられました。



12. 西金野井香取神社領朱印状

春日部市指定有形文化財（古文書）
近世 宗教法人 香取神社蔵・当館寄託

「西金野井香取神社領朱印状」は、徳川将軍家から与えられた神社の10石の土地を保証するための文書です。将軍の代替わりごとに新しい朱印状が与えられ、天正19年の徳川家康をはじめ、二代秀忠、三代家光、四代家綱、五代綱吉、八代吉宗、九代家重、十代家治、十一代家齊、十二代家慶、十三代家定、十四代家茂が発給した歴代の朱印状12通が伝わっています。江戸時代を通じて西金野井香取神社が地域の有力神社として存在したことを示す資料です。



にしかなの い かとりじんじや むなふだ
13. 西金野井香取神社の棟札

春日部市指定有形文化財（歴史資料）
中世（徳治元年（1306））
宗教法人 香取神社蔵・当館寄託

「西金野井香取神社の棟札」は、徳治元年(1306)に破損した板屋根を修理したという内容が書かれたものです。棟札は、建物の建築や修理の際に、工事の内容やその年月、大工名などを記し、棟木などにつけられるものですが、本資料は後世の写しと考えられています。徳治元年から神社が存在していたこと、西金野井周辺が金井本郷と呼ばれていたこと、香取神社が神田梶取大神とされ、舟運に関係する人々の信仰を集めていたことを伝えます。



しょうりゅうじえんぎ
14. 小流寺縁起

春日部市指定有形文化財（古文書）
近世（明暦3年（1657））
宗教法人 小流寺蔵・当館寄託

「小流寺縁起」は、江戸川開削や小流寺開基の経緯が書かれた小流寺に伝わる縁起です。江戸川開削の基本資料として評価されています。縁起には幕府代官伊奈忠治の家臣と小島庄右衛門正重らの計画により寛永17年(1640)に江戸川開削工事が開始され、庄内古川や用排水路が整備されたことが記されています。なお、小流寺は元は吉妻（現・上吉妻）にあり、現在は西宝珠花に移転しています。



ちようきゆうき
15. 長久記

春日部市指定有形文化財（古文書）
近世（文化11年（1814））
近代個人蔵・当館寄託

「長久記」は、西宝珠花村の旧家、商家である芝田家に伝来する古文書です。芝田家5代目当主が文化11年(1814)から書き始め、6代目から8代目によって大正11年(1925)まで、約100年間書き継がれた2冊の横長帳からなります。長久記には、河岸の商人の動向や西宝珠花村のさまざまな出来事が記されており、当時の河岸場の人々の暮らしを知ることができる貴重な資料です。



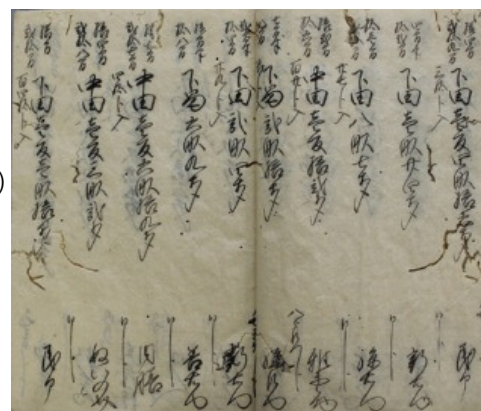


16. 粕壁宿検地帳

かすかべじゆくけんちちよう

春日部市指定有形文化財（古文書）
近世（元禄10年(1697)ほか）当館所蔵

「粕壁宿検地帳」は、江戸時代の粕壁宿の耕地や屋敷地を測量した際に作られたものです。元禄10年（1697）の検地帳5冊のほか、延享4年(1747)、明和3年（1766）明和9年（1772）の新田開発に関わる検地帳があります。近隣の日光道中の宿場では、元禄期の検地帳は、草加宿、越ヶ谷宿では確認されてはいるものの、幸手宿、栗橋宿では確認されていません。江戸時代の宿場の景観を復元をする際に欠かせない史料の一つです。



17. 円空仏群

えんくうぶつぐん

春日部市指定有形文化財（彫刻）
近世 個人蔵・当館寄託

「円空仏」は、江戸時代の修験道の僧、円空によって作られた仏像・神像です。市内には22体の円空仏が伝わっており、このうち14体が「円空仏群」として市指定文化財になっています。埼玉県東部地域は、円空仏が多く残る地域です。円空が日光へ向かう際日光道中を通ったことや、関東の修験寺院をとりまとめた幸手不動院が小淵に存在したことによるものと考えられます。展示の3体は、かつて修験寺院であったお宅に伝わったものです。



18. 榎囃子神楽連面芝居用具

えのきはやしかぐられんめんしばいようぐ

春日部市指定有形民俗文化財
近代 榎囃子神楽連蔵・当館寄託

「榎囃子神楽連面芝居用具」は、榎囃子神楽連に伝わる「面芝居」の道具類です。面27点をはじめ、衣装、幕、台本などからなります。春日部の周辺では、神社祭礼の神楽奉納に際して、江戸の神楽師に依頼することが一般的でしたが、榎囃子神楽連では神楽師から「面芝居」を伝授されました。特に大正時代から昭和初期にかけて盛んに行われました。当時の「面芝居」の様子がわかる唯一の資料です。



19. 木櫛製作用具

春日部市指定有形民俗文化財
近現代 当館所蔵

春日部市における木櫛作りは、明治初期に藤塚村六軒（現・六軒町）で農家の副業として始められたのが最初といわれ、戦前まで木櫛製作を行う家が18軒ほど存在したようです。これらの用具は市内では最後の木櫛職人にあたる方が使ったものです。各用具をみると、職人自ら用具に工夫を加え使いやすくしていることがわかります。



20. 都鳥の碑

春日部市指定有形文化財（歴史資料）
近世（嘉永6年（1853年））
宗教法人 八幡神社

「都鳥の碑」は、伊勢物語の主人公、在原業平の隅田川の伝承等を伝えるため、粕壁宿名主の関根氏らによって建立された石碑で、春日部八幡神社の参道入口に建てられています。「都鳥」は、春日部市の鳥であるユリカモメの別名です。刻まれた和歌や詞書は歌人であった京都の公卿、千種有功によるもので、粕壁宿の住民と交流があったことがわかります。また春日部八幡神社の由緒を伝えています。



21. めがね橋

埼玉県指定有形文化財（建造物）
近現代（明治24年（1891））春日部市

通称「めがね橋」は旧倉松落大口逆除といい、古利根川の増水時に倉松落への逆流防止のために建設されたレンガ造りの樋門です。明治24年(1891)6月に完成し、埼玉県内に現存するレンガ造りの樋門では2番目に古いものです。レンガは「イギリス積み」で、めがねにも見える4連のアーチが特徴です。明治24年以前は、木製の樋門が設置されていましたが、洪水で流され、周辺の村々の協力のもと工費3,600円をかけて建設されました。



企画展示(第60回) 収蔵品展16指定文化財でめぐる春日部 展示資料一覧

No.	資料名称	点数	備考
1 坊荒句遺跡出土旧石器時代石器群		春日部市指定有形文化財(考古資料)	
1	ナイフ形石器(黒曜石)	1	常設展示室
2	ナイフ形石器(チャート)	1	
3	スクレイパー(チャート)	1	
4	剥片(黒曜石)	2	
5	剥片(チャート)	9	
6	剥片(ガラス質黒色安山岩)	1	
	合計	15	
2 慈恩寺原北遺跡出土旧石器時代石器群		春日部市指定有形文化財(考古資料)	
1	石刃(珪質頁岩)	1	常設展示室
2	石刃(珪質頁岩)	2	
3	敲石(砂岩)	1	
4	石核(石英)	1	
5	石核(ガラス質黒色安山岩)	1	
6	剥片(黒曜石)	1	
7	剥片(玉髓)	5	
8	剥片(ガラス質黒色安山岩)	8	
	合計	20	
3 風早遺跡出土旧石器時代局部磨製石斧		春日部市指定有形文化財(考古資料)	
1	局部磨製石斧	1	常設展示室
	合計	1	
4 米島貝塚出土黒浜式土器		春日部市指定有形文化財(考古資料)	
1	黒浜式土器(2号住居跡出土)	1	常設展示室
2	黒浜式土器(10号住居跡出土)	1	
	合計	2	
5 神明貝塚出土の堀之内式組合せ土器		春日部市指定有形文化財(考古資料)	
1	堀之内式組合せ土器	1	常設展示室
	合計	1	
6 須釜遺跡再葬墓出土遺物一括		埼玉県指定有形文化財(考古資料)	
1	壺形土器(1号再葬墓出土)	1	常設展示室
2	壺形土器(3号再葬墓A出土)	2	
3	壺形土器(3号再葬墓B出土)	1	
4	甕形土器(3号再葬墓B出土)	1	
	合計	5	

7 塚内4号墳出土遺物		春日部市指定有形文化財(考古資料)	
1	ガラス小玉	35	常設展示室
2	人物埴輪	1	常設展示室
3	須恵器壺	1	常設展示室
4	鉄鏃	1	常設展示室
5	武蔵型円筒埴輪	1	常設展示室
6	朝顔形埴輪	1	常設展示室
7	下総型円筒埴輪	1	常設展示室
8	直刀	2	
9	短刀	1	
		合計	44
8 小湊河畔砂丘出土の須恵器大甕		春日部市指定有形文化財(考古資料)	
1	須恵器大甕	1	
		合計	1
9 貝の内遺跡出土の下総国分寺軒平瓦		春日部市指定有形文化財(考古資料)	
1	下総国分寺軒平瓦	1	
		合計	1
10 浜川戸遺跡出土の板石塔婆		春日部市指定有形文化財(考古資料)	
1	板碑 弘安6年(1283)	1	常設展示室
2	板碑 徳治3年(1308)	1	常設展示室
3	板碑 正和元年(1312)	2	常設展示室
		合計	4
11 北条氏政の感状		春日部市指定有形文化財(古文書)	
1	北条氏政の感状	1	
		合計	1
12 西金野井香取神社領朱印状		春日部市指定有形文化財(古文書)	
1	享保三年(1718)7月11日徳川吉宗朱印状	1	
		合計	1
13 西金野井香取神社の棟札		春日部市指定有形文化財(歴史資料)	
1	棟札	1	
		合計	1
14 小流寺縁起		春日部市指定有形文化財(古文書)	
1	小流寺縁起	1	
2	小島庄右衛門坐像	1	参考展示
		合計	2
15 長久記		春日部市指定有形文化財(古文書)	
1	長久記	1	
		合計	1

16 粕壁宿検地帳 春日部市指定有形文化財(古文書)

1	元禄10年(1697)武蔵国埼玉郡粕壁町検地水帳	1	
2	延享4年(1747)武蔵国埼玉郡粕壁町流作場新田検地帳	1	
3	安永3年(1774)粕壁宿絵図写	1	参考展示
	合計	3	

17 榎囃子神楽連面芝居用具 春日部市指定有形民俗文化財

1	面芝居の面 曾我五郎	1	
2	面芝居の面 一心太助	1	
3	面芝居の面 墨書「榎蓮」(猪俣小平六)	1	
4	面芝居の台本 「曾我之対面之場」	1	
5	面芝居の台本 「曾我之夜討」	1	
	合計	5	

18 円空仏群 春日部市指定有形文化財(彫刻)

1	円空仏 護法神像	1	像高14.5cm
2	円空仏 護法神像(背面墨書「護世童子」)	1	像高25.7cm
3	円空仏 迦楼羅像	1	像高16.1cm
	合計	3	

19 木櫛製作用具 春日部市指定有形民俗文化財

1	マルカンナ	1	
2	ネズリボウ	1	
3	カブキリ	1	
4	ハズリボウ	2	
5	ハズリボウ	1	墨書「半京」
6	ミガキボウ	1	
7	カタガミ	1	
8	ウシノホネ	1	
9	ツヤダシダイ	1	
10	ツヤダシダイ	1	
11	ヒザマクラ	1	
12	キワク	1	
13	ドウグイレ	1	
14	イシウマ	1	
15	ケズリダイ	1	
16	マンリキ	1	
17	ガラガラ	1	

18	櫛板	1	参考展示
19	齒を立てた櫛板	1	参考展示
20	木櫛 パーマ 総赤	1	参考展示
21	木櫛 白梅	1	参考展示
22	木櫛 鞆付き 染め付け前	1	参考展示
23	木櫛 半京	1	参考展示
24	木櫛 半京	1	参考展示
25	木櫛 鞆付き キアゲ	1	参考展示
26	木櫛とかんざし 赤 絵付	2	参考展示
27	木櫛 赤と黒	1	参考展示
28	元結通し キアゲ	3	参考展示
	合計	32	

20 都鳥の碑

春日部市指定有形文化財(歴史資料)

1 写真パネル

新指定

21 めがね橋

埼玉県指定有形文化財(建造物)

1 写真パネル

新指定

総展示資料点数

143



会期：令和元年（2019）5月18日（土）～7月7日（日）

会場：春日部市郷土資料館（春日部市粕壁東3-2-15）

編集・発行：春日部市郷土資料館

発行年月日：令和元年（2019）5月18日（土）